

## すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会（第25回）会議録（概要）

- 1 開催日時 平成29年（2017年）8月29日（火） 10時00分～11時00分
- 2 開催場所 吹田市役所 特別会議室
- 3 出席者名簿 別紙「出席者一覧」のとおり
- 4 配付資料 資料1 持参率の現状について  
資料2 平成28年度レジ袋削減・マイバッグ持参促進啓発について  
資料3 北摂地域におけるレジ袋無料配布中止協定締結について

### 5 議案

- (1) 持参率の現状について（報告）
- (2) 平成29年度レジ袋削減・マイバッグ持参促進啓発について
- (3) 北摂地域でのレジ袋無料配布中止協定締結について
- (4) その他

### 6 会議要旨

- (1) 持参率の現状について（報告）

【事務局】～資料1に基づき説明～

【会長】事務局より持参率の報告があったが、この件について意見はないか。

現在、事業者ではレジ袋の有料化がどの程度進んでいるのか。

【事務局】イオンリテール(株)が実施している。過去には、(株)ダイエーが有料化を実施した経過があるが、現在は撤退している。

【会長】他に意見がなければ次に進みたい。

- (2) 平成29年度レジ袋・マイバッグ等持参と携帯促進啓発について

【事務局】～資料2に基づき説明～

【会長】マイバッグキャンペーンに協力した事業者の方々は何かないか。

【事業者A】10月7日は事業者A吹田店の改装オープンの日であり、お客様が一番多く注目度も高い時に実施できた。マイバッグキャンペーンをすることで店長等の取組に対する意識も変わった。

【事業者B】昨年度にマイバッグキャンペーンを実施した店舗はどちらも新店に近く、マイバッグキャンペーンをすることで効果的な啓発ができた。行政や消費者団体等にアピールして貰えると、店員の教育にもつながり、非常に良い。

【事業者C】吹田店と豊津店で実施した。店頭でイベント的にキャンペーンをすることは啓発につながり、市民へのアピールや従業員の啓蒙にもなる。

【会長】マイバッグキャンペーンに参加した市民団体から何か意見はあるか。

**【市民団体A】** 開店日のキャンペーンに参加したが、たくさんのお客さんが来ており、すぐに配布物が無くなってしまった。かなり反響があってよかった。

**【会長】** ほかに意見はないか。

**【市民団体B】** 阪急オアシス片山店のマイバッグキャンペーンに参加した。地域の人がマイバッグキャンペーンを見て、このような取組をしているのかと喜んでいた。

**【会長】** 続けてどのような活動をした方がいいか、意見はあるか。

**【事業者A】** お店に来られる方は年配の方が多く、キャラクター等を使ったキャンペーンも行っているが、お子様を含めた若年層には啓発ができていない。もっと広い層に啓発する方法を考えたい。

**【事業者B】** このようなキャンペーンでティッシュを受け取るのは環境に興味のある方が年配の方である。そうではない方に啓発していかなければならない。レジ袋の有料化が進んでも市民団体の協力のもとキャンペーンを続けていかなければならないと思う。

**【会長】** 店頭でのキャンペーンでは来るお客さんが対象となる。それ以外のイベントでの啓発も少しずつ進めていかなければならない。すいた環境教育フェスタでの出展も続けていくべきだと思う。

**【事務局】** 今年度の啓発については、店頭でのマイバッグキャンペーンとすいた環境教育フェスタへの出展でよいか。

**【会長】** それでよいか。

**【学識経験者】** スーパーに来られる方は高齢者が多く若年層に啓発ができていないという意見があったが、若年層の環境意識はどうなっているか。若者のマイバッグ持参率が低いのであれば、スーパーの店頭だけでなく、若者が集まるような場での啓発が大事なのではないか。ターゲット層を見定めて啓発していくべきだと思う。

**【事業者B】** 男性は持参率が低い。若年層はコンビニの感覚で、レジ袋は貰えて当たり前だと思っているので、持参率は低い。日頃から買い物をされない方は、非常に持参率が低い。

**【事務局】** 男性のマイバッグ持参率は低い。以前に江坂企業協議会にマイバッグキャンペーンで使用するチラシを企業内で配布するようお願いしたことがあるので、今後もこのような取組をしていきたい。

**【市民団体C】** 子供から啓発していくべきという意見があったが、小学校の3年生か4年生で環境教育に力を入れていると思うので、そのときにマイバッグ持参について指導してもらおうよう、各小学校に連絡をしてはどうか。

**【事務局】** 現在小学校では、パッカー車を使って小学生に分別の説明を実施している。その中でマイバッグ持参の啓発もできないか、事業課と協議する。

**【会長】** 他に何もなければ次の議題に進みたい。

(3) 北摂地域でのレジ袋無料配布中止協定締結について

**【事務局】** ～資料3に基づき報告～

**【会長】** 何か意見はあるか。

**【学識経験者】** 7市2町で協定を結ぶにあたり、協定書に署名をするのは、各市長と事業者か。7市2町で行っているということを明記しなければ、以前の和歌山での協定のよう  
に脱退する可能性があるため、協定自体が崩れやすくなる。

**【事務局】** 7市2町連名ですつもりである。

**【市民団体A】** 行政の中で、池田市、茨木市、摂津市が検討中とあるが、内容について説明して欲しい。

**【事務局】** 茨木市については、参加の意向はあるが、市民の意見を聴きたいため秋の審議会まで検討中としている。摂津市については、今後会議を重ねてから回答したいという報告がある。池田市については、前向きに検討している。9月末までに参加するかどうか報告してもらおう予定である。

**【会長】** 締結前にもう一度報告をお願いしたい。

(4) その他

**【会長】** 何かご意見はあるか。

**【事業者B】** レジ袋の無料配付中止には、とても期待している。吹田市と豊中市の行政とマイバッグ推進協議会が後押ししてくれたことがレジ袋無料配付中止協定につながっている。マイバッグキャンペーンをするだけではマイバッグ持参率は50%程度で頭打ちになってしまうので、一歩進むためには重要な施策である。実際に、京都市でレジ袋の有料化をしているが、マイバッグ持参率は85%～90%に上昇している。行政7市2町や事業者が力を合わせていけば協定締結に向けて進んでいくだろうと思う。この協定が動き出した後は、レジ袋が有料化したことについてのお客様からの問い合わせが少しはあるが、そこまで大きな問題はない。

**【会長】** 新しいことを始めるには、必ず広報責任、説明責任というものが発生する。京都市等でレジ袋無料配付中止をしたときの事前通知の方法についてもまた教えてほしい。

**【市民団体C】** 協定締結事業者は吹田の中ではどの程度の割合か。前の会議では、小売業者の方はレジ袋を持っていると自店の宣伝になるという意見があったがどうか。また、CO<sub>2</sub>削減のためにレジ袋の削減をしていると思うが、商品の包装の中にも過剰なものがあるため、削減することを考えてほしい。燃焼ごみの中の容器類のCO<sub>2</sub>排出量の割合が知りたい。

**【会長】** イベントでとんど祭りをする際に、プラスチックを燃やすとダイオキシンが発生するため、プラスチックは取り外すようにしている。買い物客がレジ袋をもらわずに買い物をするライフスタイルを作るのが理想である。

**【事務局】** すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会に御参加いただいているのは、10事業者、32店舗である。トレイ等のプラスチック容器のCO<sub>2</sub>排出量は算出していないため、この場で回答することができない。

**【学識経験者】** プラスチック容器のCO<sub>2</sub>排出量は概算値で算出できるので、また聞かせてほしい。レジ袋無料配付中止協定について、市民団体に賛同している旨を公表してもらってはどうか。

**【会長】** それは理想ではあるが、難しいと思う。

**【事業者D】** 神戸では22年前にトップの判断でレジ袋の無料配付中止を行った。当時の店長は毎日3～5件程度、酷い苦情を受けた。広報等含めて、行政や市民団体には御協力願いたい。

**【市民団体A】** レジ袋の無料配付中止は吹田市内全店が行うのか。

**【会長】** 全店ではない。協定を結んだ事業者の店舗で行う。

**【市民団体D】** 今年度のマイバッグキャンペーンは実施しないのか。また、北摂共通のマイバッグキャンペーンは、主催となったことのない市に主催をお願いしてはどうか。

**【事務局】** 議題2で昨年度と同様に継続する旨の同意をとったと思っている。詳しい日程は後日調整後に連絡するので、御協力いただけるとありがたい。

**【会長】** 以上で終了とする。